

県電設協会 熊本、宮崎と三県合同研修 (2023/11/11 5面)

人材不足の懸念目立つ



県電設協会(畠田実会長)は9日、鹿児島市のホテル・レクストン鹿児島で熊本県電設業協会と宮崎県電業協会の役員らと交えた三県合同研修会を開いた。各県の近況や直面する課題などを共有。現場の人材不足や業界の2024年問題を懸念する声が目立ち、打開に向けて意思疎通を図った。

会には、本県(賛助会員含む)26人、熊本11人、宮崎10人の計47人が出席。各県から近況報告が行われた。



本県からは畠田会長(南電工)が県内の設計労務単価の動向や働き方改革、担い手確保に向けた取り組みなどを紹介。2021年度から行っている鹿児島工学院専門学校での出前授業(会員企業から講師派遣)や新たにスタートした奨学金制度にも触れ、「将来を担う若者に魅力を感じてもらえるよう、より良い環境づくりに取り組んでいく」と力を込めた。



このほか、熊本から三宅信彦副会長(熊本大電設備)、宮崎からは中村吉伸副会長(電工社)が現状を報告。「TSMC(台湾積体回路製造)の工場建設で技能労働者不足の懸念が高まっている」(熊本)、「直面する課題は人材確保と2024年問題。時間外労働の上限規制も難しい部分が多いが、若者を迎え入れるためにもしっかりと対応していかなければならない」(宮崎)などと話した。



宴席では、各県の出席者が近況を語り合い、交流を深めた。

■親睦ゴルフも開催

武信さんが優勝

同日は、鹿児島市の島津ゴルフ倶楽部で親睦ゴルフコンペも行われた。各県から計33人が参加し、9組に分かれてプレー。武信克彦さん(かごしま電工)が見事優勝した。

上位の成績は次の通り。

優勝=武信克彦▽準優勝=高尾幸男(高尾電気工業、熊本)▽3位=山ノ内元治(明興テクノス)▽ベストグロス=内村安博79(内村電設、宮崎)